

戸田市 施策評価シート

作成日	令和 6年 6月23日	作成部局名	水安全部	担当部局名	都市整備部		
-----	-------------	-------	------	-------	-------	--	--

1. 施策の位置づけ <PLAN>

基本目標	04 安全な暮らしを守るまち	担当課	河川課	
		担当課	総務課	
		担当課	下水道施設課	
施策	19 浸水対策の推進	関係課	道路管理課	
		関係課	まちづくり区画整理室	
		関係課		
施策の目的	河川整備により治水機能の強化を図るとともに、集中豪雨に対応した下水道施設を整備することにより、水害に対し安全・安心に生活できるまちづくりを推進します。			

2. 施策の主な取り組み <DO>

取り組み	上戸田川整備事業
取り組み	さくら川整備事業
取り組み	雨水整備事業
取り組み	浸水被害軽減事業
取り組み	
取り組み	
取り組み	

3. 施策の指標における成果（主な指標） <CHECK>

指標名	指標の説明 (算定式)	単位	目標値	達成値					
				当初値	R3	R4	R5	R6	R7
浸水被害箇所数	市内で浸水被害が発生した箇所の総数 (1年度における浸水被害発生箇所数)	箇所	47以下	95	0	0	68		
さくら川護岸改修率	さくら川の護岸改修整備率 (整備済み延長÷総延長×100)	%	60.1	46.8	48.1	49.2	53		
雨水整備率	下水道(雨水)整備率・面積(区整地除) (整備済み面積÷全体計画面積×100)	%	73.5	72	72.1	72.4	72.6		
その他施策の取組事項に係る成果									

4. 施策の展開 <ACTION>

課題	<p>浸水被害軽減事業については、台風や集中豪雨等による下水道施設の整備水準を超える降雨の発生に対し、浸水被害箇所の検証・分析を踏まえた、重点的な浸水対策の実施に係る費用の増加が見込まれており、事業費の確保が課題である。</p> <p>さくら川整備事業については、令和元年東日本台風での浸水被害を受け、早期整備完了すべく、整備区間の延伸に伴う工事費の増加が見込まれ、事業費の確保が課題である。</p> <p>雨水整備事業については、近年頻発する集中豪雨や大型化する台風に対し、雨水排水施設の未整備地区である新曽・笹目地区における整備を促進する必要がある、緊急かつ効率的な浸水対策の実施に伴う費用の増加が見込まれており、事業費の確保が課題である。</p>	対応策	<p>浸水被害軽減事業については、雨水排水施設の未整備地区である新曽地区における浸水対策として、北大通りの地下に埋設する雨水貯留管整備事業に着手し、令和6年度末の竣工に向けて事業の進捗管理に取り組む。</p> <p>さくら川整備事業については、背水区間を優先に河川整備を進め、工事施工ヤードの確保や護岸の老朽化状況などをから整備箇所を決定し、浸水被害の軽減に向け、河川整備の推進を図る。</p> <p>雨水整備事業については、地区ごとの雨水計画に基づく整備の促進を図るとともに、浸水被害が頻発する地区における早期の浸水対策を実施することで、市民生活の安心・安全の確保を図る。</p>

戸田市 施策評価シート

作成日	令和 6年 6月23日	作成部局名	水安全部	担当部局名	都市整備部		
-----	-------------	-------	------	-------	-------	--	--

○結果と今後の方向性

進捗状況 (A 躍進中、B 予定通り、C 遅れ気味)		説明 (総評)	浸水被害軽減事業については、令和3、4年度において浸水被害の発生を防止することができたが、下水道施設の整備基準を超える降雨に対する被害軽減を図るための整備事業を継続して実施する。 さくら川整備事業については、計画どおりに護岸改修を実施しており、引き続き浸水被害の軽減を図るための整備を進める。 雨水整備事業については、計画どおりに雨水排水施設整備を実施しており、引き続き未整備地区である新曽、笹目地区の整備促進に向けて、雨水管渠に係る設計、工事を進める。				
B							
今後の方向性 (予算) (↑増加、→維持、↓削減)		令和06年度 (事業費総額)	令和07年度	令和08年度	令和09年度		
		6,486,580 ↓	1,377,617 ↓	1,169,107 ↑	1,265,859		
説明	浸水被害軽減事業における新曽地区北大通りの地下に埋設する雨水貯留管整備事業、浸水被害対策推進に向けたさくら川整備事業の推進及び雨水整備事業における雨水排水施設整備の進捗に伴い、本施策に係る令和6年度計画額事業費総額での大幅な増加が見込まれる。令和7年度以降は、雨水貯留管整備事業の完成により、計画額事業費総額において減少傾向が見込まれる。						
今後の方向性 (人員) (↑増加、→維持、↓削減)		令和06年度 (人件費総額)	令和07年度	令和08年度	令和09年度		
		48,888 ↑	61,890 →	61,890 ↑	63,190		
説明	さくら川整備事業における護岸整備、及び雨水整備事業における雨水排水施設未整備地区の雨水管渠整備に係る設計、工事の進捗による人員の増加に伴う人件費の増加により、本施策に係る令和6年度計画額人件費総額での増加が見込まれる。令和7年度以降は、計画額人件費総額において維持が見込まれる。						

--	--

5. 事務事業の検討 【一般会計】

(単位：千円)

大事業	中事業	事務事業名		事務事業評価の結果										担当部局の評価								
				R5決算額	R6予算額	R7計画額	強 靱 化 計 画	総 合 戦 略	事 業 の 方 向 性	実 施 計 画 候 補	評価結果				施 策 内 優 先 度	コ メ ン ト						
											施策への貢献度	経費水準	事業手法	受益・負担の公平性								
																	事業費	うち一般財源	人件費			
事業区分	事業コード	事業内容	事業費	うち一般財源	人件費																	
02 河川総務事務費 (河川課)																						
	01	08	03	01	02	01	法定	6,004	7,507	8,257	8,257	5,851	-	-	1	○	-	-	-	-	予	
03 河川維持管理費 (河川課)																						
	01	08	03	01	03	01	任意	98,984	150,400	170,650	170,650	10,207	○	-	1	○	B	B	B	B	B	河川及び水路における流下機能の確保並びに水質改善及び水辺環境の保全により、河川施設の健全な状態を保持し、良好な河川環境の推進が図られるよう事業の実施を継続する。
04 河川改修事業 (河川課)																						
	01	08	03	01	04	01	任意	132,774	56,347	70,000	46,000	6,501	○	○	1	○	A	A	A	A	A	上戸田川流域における流下能力の確保による浸水被害の軽減及び治水安全度の向上を図るとともに、快適な水辺環境の創出が図られるよう事業の実施を継続する。
	02	08	03	01	04	02	任意	67,560	429,140	444,000	218,320	13,002	○	○	1	○	A	A	A	A	A	さくら川流域における流下能力の確保による浸水被害の軽減及び治水安全度の向上を図るとともに、快適な水辺環境の創出が図られるよう事業の実施を継続する。
02 水防事業 (河川課)																						
	01	09	01	04	02	01	義務	998	5,561	1,000	1,000	3,446	○	-	1	○	-	-	-	-	-	水防法に基づき設置される、荒川の氾濫による水害の防止に係る荒川左岸水害予防組合における水防体制の充実が図られるよう事業の実施を継続する。

戸田市 施策評価シート

作成日	令和 6年 6月23日	作成部局名	水安全部	担当部局名	都市整備部
-----	-------------	-------	------	-------	-------

5. 事務事業の検討 【一般会計】

(単位：千円)

大 事 業	中 事 業	事務事業名		事 業 区 分	事務事業評価の結果								担当部局の評価							
		事業コード			R 7 計 画 額	強 靱 化 計 画	総 合 戦 略	事 業 の 方 向 性	実 施 計 画 候 補	評価結果				施 策 内 優 先 度	コ メ ン ト					
		事業内容								R5決算額						施 策 へ の 貢 献 度	経 費 水 準	事 業 手 法	受 益 ・ 負 担 の 公 平 性	
		R6予算額								事業費		うち一般財源								人件費
01 道路維持管理費 (道路管理課)																				
	01	(再掲) 道路維持管理費		任 意	<(再掲)について> 本事業は、他の施策を主たる施策として構成する事務事業ですが、一部が本施策にも寄与するため「再掲の事務事業」として、参考に掲載しています。 ※事業内容は、当該事務事業評価シートを参照															
		01	08										02	01	01	01	・道路台帳等の更新により、最新の道路情報を維持する。			
計 (千円)										R5決算額	R6計画額	R7予算額								
										事業費	306,320	648,955	693,907							
										うち一般財源	155,311	199,923	444,227							

事業の方向性： 1 現状で継続 2 拡大して継続 3 縮小して継続 4 他事業と統合 5 休止 6 その他見直し
 7 令和7年度で終了 8 令和6年度で終了 9 令和5年度で終了

戸田市 施策評価シート

作成日	令和 6年 6月23日	作成部局名	水安全部	担当部局名	都市整備部
-----	-------------	-------	------	-------	-------

5. 事務事業の検討 【特別会計】 (単位：千円)

大 事 業	中 事 業	事務事業名		事務事業評価の結果										担当部局の評価		
		事業コード		R7 計画額	強 靱 化 計 画	総 合 戦 略	事 業 の 方 向 性	実 施 計 画 候 補	評価結果					施 策 内 優 先 度	コ メ ン ト	
		事業内容							R5 決算額	R6 予算額	施 策 へ の 貢 献 度	経 費 水 準	事 業 手 法			受 益 ・ 負 担 の 公 平 性
		事業内容														
xx 雨水貯留施設助成事業 (総務課)																
	00	雨水貯留施設助成事業		15											雨水貯留タンク等の雨水貯留施設に係る補助制度の周知に努め、雨水流出の抑制による浸水被害及び河川への負担の軽減が図られるよう事業の実施を継続する。	
	03	xx	xx	xx	xx	00										
	宅地内に雨水貯留施設等の設置を行う者に対して、設置費		500			1	○	C	B	B	B	B				
			0													
	01	雨水工事業 (下水道施設課)		198,835											雨水管渠等の雨水排水施設の整備を進めることにより、排水区域における計画降雨を速やかに排除し、効果的な浸水防除が図られるよう事業の実施を継続する。	
	03	雨水整備事業		346,304												
	03	02	01	01	01	03	○	○	1	○	A	B	B	B		
	排水区域(分流式)910haのうち、新曽第一・第二地区を除		10													
	00	浸水被害軽減事業 (下水道施設課)		1,480,212											浸水被害の頻発地区において、重点的に雨水貯留管整備事業等の浸水対策を進めることにより、都市機能の確保が図られるよう事業の実施を継続する。	
	03	xx	xx	xx	xx	00	○	○	1	○	A	B	B	B		
	浸水被害の多い地区について、重点的に浸水対策工事を実		5,490,821													
			66,000													
	01	宅地整備事業 (まちづくり区画整理室)		0											<p><(再掲)について> 本事業は、他の施策を主たる施策として構成する事務事業ですが、一部が本施策にも寄与するため「再掲の事務事業」として、参考に掲載しています。 ※事業内容は、当該事務事業評価シートを参照</p> <p><(再掲)について> 本事業は、他の施策を主たる施策として構成する事務事業ですが、一部が本施策にも寄与するため「再掲の事務事業」として、参考に掲載しています。 ※事業内容は、当該事務事業評価シートを参照</p>	
	01	(再掲) 宅地整備事業		3,251												
	12	02	01	03	01	01										
	事業区域91.2ha内の道路築造等を実施する。また、北戸															
	01	(再掲) 宅地整備事業														
	15	02	01	03	01	01										
	事業区域40.5ha内の道路築造及び橋梁整備等を実施する															

計 (千円)		R5決算額	R6計画額	R7予算額
	事業費	1,679,062	5,837,625	683,710
	うち一般財源	124,410	172,575	10

事業の方向性： 1 現状で継続 2 拡大して継続 3 縮小して継続 4 他事業と統合 5 休止 6 その他見直し
 7 令和7年度で終了 8 令和6年度で終了 9 令和5年度で終了